

槌田さんの講演会報告

総会と同日の午前10時より、会場のせっけんの街うてなとオンラインをつなぎ、生活クラブ生協（千葉）、生活クラブ生協（茨城）とせっけんの街の共催で学習会「5000年のあんしん！せっけんの良さを見直そう」が開催されました。

学習会の中で、講師の槌田博さんから、「人が油脂を摂取すると、酵素の働きでお腹の中で脂肪酸ナトリウムができます。それは、せっけんそのものなのです。」という驚きの解説がありました。人がせっけんを使い始めて5000年とも言われます。使っていて違和感がないのは、こういうことも関係しているのかと思いました。参加されたワーカーズコレクティブ樹（デポー 真砂）Yさんから「市販の洗剤を使っていたら、体にも環境にも影響があることを様々なデータから知ることができ、これからも安心なせっけんを使い続けたいと思いました。」と、感想をいただきました。洗剤は裏面のラベル表示に「せっけん」と書かれた物を選択したいですね。

「純石けん分」って、何のこと？

純石けん分＝「脂肪酸ナトリウム」または「脂肪酸カリウム」
（5千年も前から使われてきた、昔ながらの石けん成分）

【石けんの製法】

動植物性油脂にアルカリを加えて、煮沸して、分解と中和を行い、**脂肪酸ナトリウム**や**脂肪酸カリウム**といった純石けんを作ります。

【栄養素としての脂肪の消化吸收】

私たち動物は、脂肪分を食べると、消化酵素（リパーゼ）を分泌して、脂肪分を「脂肪酸」と「グリセリン」に分解し、脂肪酸を胆汁で中和して、**脂肪酸ナトリウム**として小腸から吸収し、血液によって全身の細胞に輸送して、主にエネルギー源として、利用します。

石けんが排水されて川や海に出ると、微生物などの生き物がエサとしてそれを食べて分解します。
「**石けんの排水はBOD（生物学的酸素要求量）が高い**」と批判されることがありますが、このことこそが、生き物が石けん廃液を栄養源として呼吸を盛んにすることの証しであり、**安全性のパラメータ**なのです。



槌田博 氏
化学物質アドバイザー
有害化学物質削減ネットワーク（Tウォッチ）理事
NPO せっけんの街理事

当日のQ&Aから

Q:環境学習で「自分達が流す水に気をつけよう」と話す時に、下水道の普及率のことが気になる。浄化槽を使うところは数に入っていないのか。

→A:全人口に対し、下水道を使える人の割合が普及率。下水処理場は微生物を使って水を浄化しており、それに合成洗剤が影響する。処理場に入る水と出る水の、合成洗剤濃度調査を、せっけんに理解ある行政に依頼するとよい。

Q:給食担当職員にせっけんカスが出るので使えないと言われたが、酸素系漂白剤を勧めてよいのか。

→A:給食の現場でもせっけんが使えている例はあるので、使い方を共有できるようにするとよい。

Q:「植物由来」とうたっている界面活性剤は良くないの？

→A:原料が植物由来であっても、できた物は合成界面活性剤という製品はたくさんある。

Q:学校のハンドソープは「薬用」が使われがちだがどうなのか。

→ A: せっけんそのものが持つ殺菌効果で十分。「薬用成分が入っていても、通常のせっけんと比べて殺菌効果が優れていると証明できない」というデータもある。

★お知らせ★

『2025シャボン玉フォーラム in 大分』

開催日:10月17日(金)~18日(土) 会場:J:COM ホルトホール大分他

2日目の第1分科会の講師として槌田博さんが登壇されます。報告をお楽しみに。

☆☆☆ 地区の活動 ☆☆☆

つながりひろがれ「ぽっぽの市」

(4月20日 @千葉市稲岸公園)

約80の出店と、フリマや様々なパフォーマンスも行われ、大勢の来場者で賑わいました。せっけんの街には、10名の方が賞味期限切れ食用油や廃食油を持参され、リサイクルせっけんミニサイズをプレゼント。お試し買いやリピーターの方が粉せっけん「あんしん」や「萌」、液体せっけん「おれんじ」や「こはく」を、アルカリ電解イオン水「オルタクリーナー」をペットの為に買われました。次回は秋に出店予定です。



柏市民活動フェスタ

(5月18日 @ 柏駅前通りハウディモール)

柏の市民活動を応援する柏市民フェスタに参加。大学生ボランティアや市内で市民活動をするたくさんの仲間と交流しました。



流山セントラルパークフェスタ

&感謝祭2025

(6月8日 @流山市生涯学習センター)

今年は5千人を超える市民が来場。せっけんの街流山では①流す水のこと②せっけんと合成洗剤の違いと見分け方（子供にもわかる実験あり）③リサイクルせっけん製品展示とお試し用の配布（要アンケート回答）などで参加しました。隣のおもちゃ病院（修理）の人氣もあって、大勢の親子連れでにぎわいました。



せっけん使い方講座

生活クラブ 千葉ブロック

(6月27日 @みつわ台デポー)

季節の変わり目にダウンジャケット洗いと換気扇掃除をテーマに伝えました。
（アルミ製のシロッコファンをとろとろせっけんて掃除しました。ファンの間を子ども用歯ブラシの刷毛の部分に溝に合うようカットすると汚れを取りやすいです。ダウンジャケットは袖口や襟は固形石鹸をこすりつけ、その後、液体せっけんこはくで手洗い、またはネットに入れて洗濯機で洗います。よく濯いで陰干しします。）



キッチンで煮洗いを体験➡

展示会 生活クラブ生協（千葉）

(5月31日・6月1日 @松戸センター)
(6月7・8日 @市原センター)
(6月14・15日 @柏センター)
(6月21・22日 @佐倉センター)



各センターの展示会に出店しました。
写真は、市原センターのブースの様子です。



生活クラブ生協（茨城）

(6月28日 @牛久センター)

外気温 35℃でした、室内へ会場を移して液体せっけん「おれんじ」の量り売りアピールしました。

牛久センターのブース➡



(7月5日 @取手センター)

「おれんじ」や、「うてなちゃん」を愛用してくださっている方とお話できました。野田市から来ていたキッチンカーの方にも購入していただきました。

取手センターのブース➡



生活クラブマルシェ in ドラムの里

(6月8日・7月21日 @印旛郡栄町)

組合員による手作り品のマルシェに参加しました。6/8はたくさん子どもたちがこねこねマイせっけんで遊び、粉せっけんを売っているところを探していたと言う男性にも会えました。

